

(別紙)

## 水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書（岩手県）

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	県の評価結果
					目標値	現状値(H28)		
H23	2	漁船保全修理施設	H23	H29	年間上架隻数40隻	年間上架隻数26隻	震災後は新造船が増加し、一時的に当施設の利用が低下し目標値を下回っているが（達成率65%）、一隻あたりの上架日数は増加しており利用日数は計画日数60日に対して130日程度で推移している。	漁船保全修理施設の整備により漁船の保守、修繕体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を下回った結果となったが、事業実施主体に対し利用率向上に向け指導を実施していく。
H23	3	水産物荷さばき施設	H23	H29	年間水揚げ量1,500トン	年間水揚げ量2,123トン	冬季のイワシ等の水揚げが増加したため、目標値を大きく上回った（達成率142%）。	水産物荷さばき施設の整備により魚市場機能が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を大きく上回った結果となり、今後も継続していく。
H23	11	養殖施設	H23	H29	ワカメ、ホタテ、アワビ生産量547トン、殻付カキ生産量520千粒	ワカメ、ホタテ、アワビ生産量349トン、殻付カキ生産量205千粒	台風10号の影響によりワカメ及び殻付カキが減産したため、目標値を下回った（達成率64%、39%）。	養殖施設の整備によりワカメやホタテ等養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。H28は台風10号の影響により目標値を下回った結果となったが、事業実施主体に対し養殖生産量の増加に向け指導を実施していく。
H23	44	養殖施設	H23	H29	ホタテ生産量103トン	ホタテ生産量123トン	生産量は順調に回復しており目標値を上回った（達成率119%）。	養殖施設の整備によりホタテ養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を上回った結果となり、今後も継続していく。
H23	46	養殖施設	H23	H29	ホタテ生産量296トン	ホタテ生産量286トン	生産量は順調に回復しており目標値を若干下回った（達成率97%）。	養殖施設の整備によりホタテ養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を若干下回った結果となったが、事業実施主体に対し養殖生産量の増加に向け指導を実施していく。
H23	47	養殖施設	H23	H29	養殖生産物の生産量581トン	養殖生産物の生産量373トン	ホタテ貝毒の発生による出荷停止、台風10号の影響等により養殖生産物が減産したため目標値を下回った（達成率64%）。	養殖施設の整備によりワカメ、ホタテ等養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。H28はホタテ貝毒の発生による出荷停止、台風10号の影響等により目標値を下回った結果となったが、事業実施主体に対し養殖生産量の増加に向け指導を実施していく。
H23	64	漁港環境施設	H23	H29	—	—	便所の復旧により震災前と同様に利用が図られた。	漁港環境施設（便所）の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。
H23	83	水産物鮮度保持施設	H23	H29	年間販売量500トン	年間販売量358トン	氷を使用する夏季の水揚げ量が少なかったため、目標値を下回った（達成率72%）。	水産物鮮度保持施設の整備により魚の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を下回った結果となったが、事業実施主体に対し氷の販売量増加に向け指導を実施していく。
H23	129	養殖施設	H23	H29	ワカメ、ホタテ、ホヤ生産量70トン	ワカメ、ホタテ、ホヤ生産量900トン	生産量は順調に回復しており目標値を大きく上回った（達成率1285%）。	養殖施設の整備によりワカメやホタテ等養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を大きく上回った結果となり、今後も継続していく。
H23	130	養殖施設	H23	H29	コンブ、カキ、ホタテ、イシカゲガイ生産量410トン	コンブ、カキ、ホタテ、イシカゲガイ生産量527トン	生産量は順調に回復しており目標値を上回った（達成率129%）。	養殖施設の整備によりコンブやカキ等養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標値を上回った結果となり、今後も継続していく。